

都市再生整備計画(第4回変更)

くろさわじり
黒沢尻地区

いわて きたかみし
岩手県 北上市

当 初 平成30年3月
第1回変更 平成31年1月
第2回変更 令和元年5月
第3回変更 令和2年1月
第4回変更 令和3年1月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

目標及び計画期間

都道府県名	岩手県	市町村名	北上市	地区名	黒沢尻地区	面積	195.5	ha							
計画期間	平成	30	年度	～	令和	2	年度	交付期間	平成	30	年度	～	令和	2	年度

目標
大目標： 医療・福祉・子育てを支え、ふれあいや交流が生まれる「あじさい都市」きたかみの都市拠点の形成 目標1 医療機能の適正配置による安心安全な暮らしの実現 目標2 子育て世代を支援する機能の充実 目標3 高齢者にやさしい公共交通ネットワークの構築
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 あじさい都市の中核を担う都市拠点として都市機能の集積や交通ネットワークの再構築といった都市機能の向上に取り組み、住みやすさや利便性の向上によって人口減少を抑制することが求められる。具体的には、市の中核的病院となっている「北上済生会病院」は、施設の老朽化や耐震性の確保、敷地の狭隘化などの問題を抱えていることから、移転建替えによって将来にわたって持続的な医療の確保を目指す。 また、子育て世代の核家族化や生活様式・生活意識の都市化等に伴い増加している子育てへの不安や負担を軽減するための支援が求められている。その他、高齢化の進展等に伴う公共交通二ーズの高まりへの対応など、市民の安心・安全な生活を支えるための都市機能の再整備を行うことが課題となっている。 そこで、平成30年3月に北上市立地適正化計画を策定し、北上駅や市役所を含む市内中心部を都市機能誘導区域と定め、大型店舗や病院、子育て世代包括支援センター、健康管理センター等を誘導施設として設定し、区域内の施設数を維持又は増加させるため、誘導施策を進めていくと共に、都市機能誘導区域内の人口の維持を目指す。あわせて、公共交通体系を整備し、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを目指し、当市が掲げている「あじさい都市」の実現に向けて都市拠点の形成に寄与する事業を展開していく。
まちづくりの経緯及び現況
・北上市は平成3年4月1日に旧北上市、和賀町、江釣子村の3市町村合併により誕生した。北上平野のほぼ中央に位置し、北上川と和賀川が合流する肥沃な土地に美しい田園地帯が広がり、西に奥羽山系、東に北上山系の美しい山々が連なる豊かな自然に恵まれている。古くから交通の要衝として栄え、国道4号、JR東北本線の南北幹線と国道107号、JR北上線の東西幹線が交差して旧来の市の骨格がつくられた。 ・東北自動車道、東北新幹線などの高速交通体系も整備され、平成9年には東北横断自動車道秋田線の全線が開通、北上ジャンクションが完成するなど交通の利便性が高まっている。そのような背景から人口は順調に増加し、平成9年度末には9万人に到達した。県下一位の工業出荷額をもつ活気ある都市として注目を集めている。 ・まちづくりにおいては、総合計画において「豊かな自然と先端技術が調和した魅力あふれるまち」を目標とし、活気あふれる街づくりを目指しているところである。総合計画では、地区ごとに地域の現状と課題をどのように解決するべきか検討した「地域計画」を定め、地域自らが政策立案を行ってまちづくりを行っている。 ・今回の事業対象区域である黒沢尻地区は、中心市街地として位置づけられており、市庁舎、学校、駅などの公共交通機能が集積する生活利便性の高い地域である。当該地区の北部側では黒沢尻西部土地区画整理事業により、環境の健全な住宅地の形成の整備を進めており、地区の人口も横ばいで推移してきた。一方で、直近5ヶ年では人口は減少傾向にあり、今後の同様の傾向が続いた場合には人口が大きく減少することが想定される。
課題
・北上市の医療を支える北上済生会病院の老朽化 ・安心して出産や子育てができるサポート体制の構築 ・地域内に点在する医療・福祉サービスの連携強化による利便性の向上 ・高齢者などの交通弱者の増加に対応した公共交通のサービス水準の向上
将来ビジョン(中長期)
【総合計画】 ・「豊かな自然と先端技術が調和した魅力あふれるまち」を将来都市像とし、市民参画型の行政運営により施策の推進を図ることとしている。 【都市計画マスタープラン】 ・「都市機能の集約と地域連携による持続可能な都市 『あじさい都市』きたかみ」を目指す都市像として、「まちなか地区」においては、交通結節点としての機能の充実により、既存の都市機能を維持しつつ、多様な都市機能の集積に向けた計画的な土地利用を図るとともに、主要な公共施設については先導的に集積を図ることとしている。

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方 誘導施設は、居住者の共同の福祉又は利便 性向上のために必要な施設とされています。北上市では、北上市都市計画マスタープランにおいて 拠点の機能又は施設として位置づけられているもののうち、市全体を支える 中枢的な機能を担う施設や、多くの市民の利用が見込まれ、公共交通でアクセスしやすい場所に配置すべき施設である医療施設、保健衛生施設、子育て支援施設及び 商業施設を誘導施設として設定します。これにより、人口減少・高齢化の進行が予想される中、将来にわたって持続可能なまちとしてあり続けるために、歩いて移動できる範囲に生活圏を支える都市機能を集中させると共に、拠点内及び拠点間を公共交通で結ぶことで「高齢者や子育て世代が安心して暮らせるまちづくり」を進めます。 また、小中学校等の 法令により適正な通学距離が規定されている施設、又 は地域包括支援センター等や市の計画に施設の配置基準が示されている施設 は、誘導施設に位置付けないこととします。更に、専ら施設周辺に居住する市民に対して日常生活を支援する機能を持つ 施設は、各地域拠点に配置されることが望ましいことから、誘導施設に位置付けないこととします。							
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 市では、中心部に位置する再開発ビルの一部をコンバージョンして、室内子どもの遊び場や市民交流プラザ、子育て世代包括支援センター等が入居する複合施設を整備する。併せて、利用者の利便性を高めるために建物内の立体駐車場やバス待合所の整備をする。 また、民間事業者が10年以上前に郊外へ移転した県立病院跡地を活用して、総合病院を移転建て替えることから市でも支援すると共に、周辺道路やバス停留所の整備をする。							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等 なし							

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
中心拠点区域の人口	人	本都市再生整備計画の対象エリアであり、公共交通の利便性の高いエリアである中心拠点区域の人口	過去5年間の傾向によると中心拠点区域内の人口は今後減少することが想定されるため、人口の維持は区域内の住みやすさや魅力が向上したことを示す。	8,067	H29	8,067	R2
北上市保健・子育て関連施設の利用者数	人／日	保健施設、子育て支援センター、児童家庭相談室、一時的保育事業、室内子どもの遊び場、子育て相談などの1日平均の利用者数	駐車場や公共交通網が整備されている市内中心部に機能を複合化することで、利便性が向上し、子育てしやすい環境、健康診断等を受診しやすい環境を実現したことを示す。	200	H28	420	R2
市民交流プラザの利用者数	人／日	市民交流プラザにおける展示スペース、会議室、研修室、キッチンスタジオの1日平均の利用者数	上記の保健・子育て関連施設と一体的に整備することで、利便性が向上し、コミュニティが構築できる環境を実現したことを示す。直近3年間の平均値から10%増加した数値を目標値とする。また、キッチンスタジオは、市内同種施設(1日平均利用人数:8人)の1.4倍の規模であることから、11人とする。	63	H30	77	R2
市内バス利用者数	人／年	市内を運行する路線バス及びコミュニティバスの総利用者数	利用者数の増加は、快適で利用しやすい公共交通ネットワークが構築されたことを示す。	593,206	H27	640,000	R2

整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
【医療機能の適正配置による安心安全な暮らしの実現】 ・北上済生会病院は、日常的な市民の健康と生命を守る地域の二次救急医療機関として重要な役割を担っており、より利便性の高いサービスを提供するため「医療・福祉・子育て拠点」へ移転する。 ・病院へのアクセスを向上させるため、周辺の道路改良及びバス停留所の整備を行う。 ・病院の整備に伴い、周辺道路の歩行者の増加が考えられることから、歩道の整備や歩行者専用道の整備を行うことで、安全で通行しやすい道路の環境づくりを進める。	(基幹事業)誘導施設／北上済生会病院移転 (基幹事業)道路／上川原常盤台線交差点改良 (基幹事業)道路／上川原常盤台線歩道改良 (基幹事業)高質空間形成施設／北上済生会病院南線整備 (基幹事業)高質空間形成施設／北上警察署東線整備 (基幹事業)高質空間形成施設／病院前バス停留所整備 (基幹事業)地域生活基盤施設／病院内バス情報案内設備整備 (関連事業)在宅医療介護連携拠点整備事業
【子育て世代を支援する機能の充実】 ・北上市において安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めるため、中心拠点区域内に母子保健をサポートする拠点を整備する。 ・現在、老朽化が進行している健康管理センターの建替えに伴い、妊娠期から子育て期までの子育て支援を一貫して行う「子育て世代包括支援センター」を複合整備し、利用者の安心感や利便性の向上を目指す。 ・また、北上済生会病院に隣接する場所に病後児保育室を移転し、医療と子育ての連携強化を図る。	(基幹事業)地域生活基盤施設／本通り駐車場 (基幹事業)高次都市施設／子育て世代活動支援センター (基幹事業)高次都市施設／地域交流センター (基幹事業)誘導施設／子育て世代包括支援センター整備 (関連事業)健康管理センター建替事業 (関連事業)病後児保育施設移転事業
【高齢者にやさしい公共交通ネットワークの構築】 ・都市拠点と各地区の地域拠点が相互に連携するあじさい都市を実現するため、バス路線の再編とそれに伴う利用者の増加に対応した待合機能や情報発信機能の強化に取り組み、都市拠点へのアクセス性の向上と公共交通の利用促進を図る。 ・北上駅とツインモールプラザの2箇所を公共交通の拠点(北上駅周辺拠点、まちなか交通拠点)とし、既存施設を更新して交通結節点としての機能を強化することで「医療・福祉・子育て拠点」へのアクセスを向上させ、車を運転できない高齢者などの交通弱者の利便性の向上を目指す。	(基幹事業)高質空間形成施設／ツインモールプラザ前バス待合所整備 (基幹事業)高質空間形成施設／北上駅前バス待合所整備 (基幹事業)高質空間形成施設／病院前バス停留所整備(再掲) (基幹事業)地域生活基盤施設／病院内バス情報案内設備整備(再掲) (関連事業)公共交通網再編事業
その他	
【市民との協働による事業の推進】 本都市再生整備計画に位置づけられている事業は「北上市立地適正化計画」を基本としている。 立地適正化計画の策定にあたっては、学識者によって組織された「立地適正化計画専門家会議」や地域住民を対象とした「立地適正化計画地域説明会」において検討を行っており、市民との協働による事業の推進を図っている。 (開催状況)・立地適正化計画専門家会議 全4回(①平成28年8月3日、②平成28年9月28日、③平成28年12月16日、④平成29年3月29日) ・立地適正化計画地域説明会 全6会場(期間:平成29年2月20日～平成29年2月28日、会場:本庁舎、和賀庁舎、江釣子交流センター、立花交流センター、鬼柳交流センター、飯豊交流センター) 【官民連携によるまちづくり体制の構築】 本都市再生整備計画に位置づけられている事業には、市と民間事業者が連携して行うものが複数ある。 事業の実施にあたっては、民間事業者と意見交換を行いながら、官と民のパートナーシップによるまちづくり体制を構築することで、中心市街地の活性化に取り組んでいく。 (民間事業者との連携による事業実施の例) ・北上済生会病院との連携:北上済生会病院移転、在宅医療介護連携拠点整備事業、病後児保育施設整備事業 ・岩手県交通との連携:病院前バス停留所、ツインモールプラザ前バス待合所、北上駅前バス待合所、公共交通網再編事業 ・(一社)岩手県タクシー協会との連携:北上市地域公共交通網形成計画に基づく公共交通ネットワーク(協働型地域内交通等)の再構築 【政策間連携体制】 庁内体制として、「北上済生会病院新病院建設事業支援対策会議」を設置し、在宅医療介護連携拠点及び病後児保育室の設置について、施策間の連携を図る。 【事業完了後の継続性】 北上済生会病院内に在宅医療介護連携拠点を設置することにより、訪問診療体制構築による在宅医療の強化、医療と介護の連携促進が図られる。	

様式(1)-④-1

(金額の単位は百万円)

統合したB/Cを記入してください

合計(A+B)	2.207
---------	-------

[illegible][illegible]

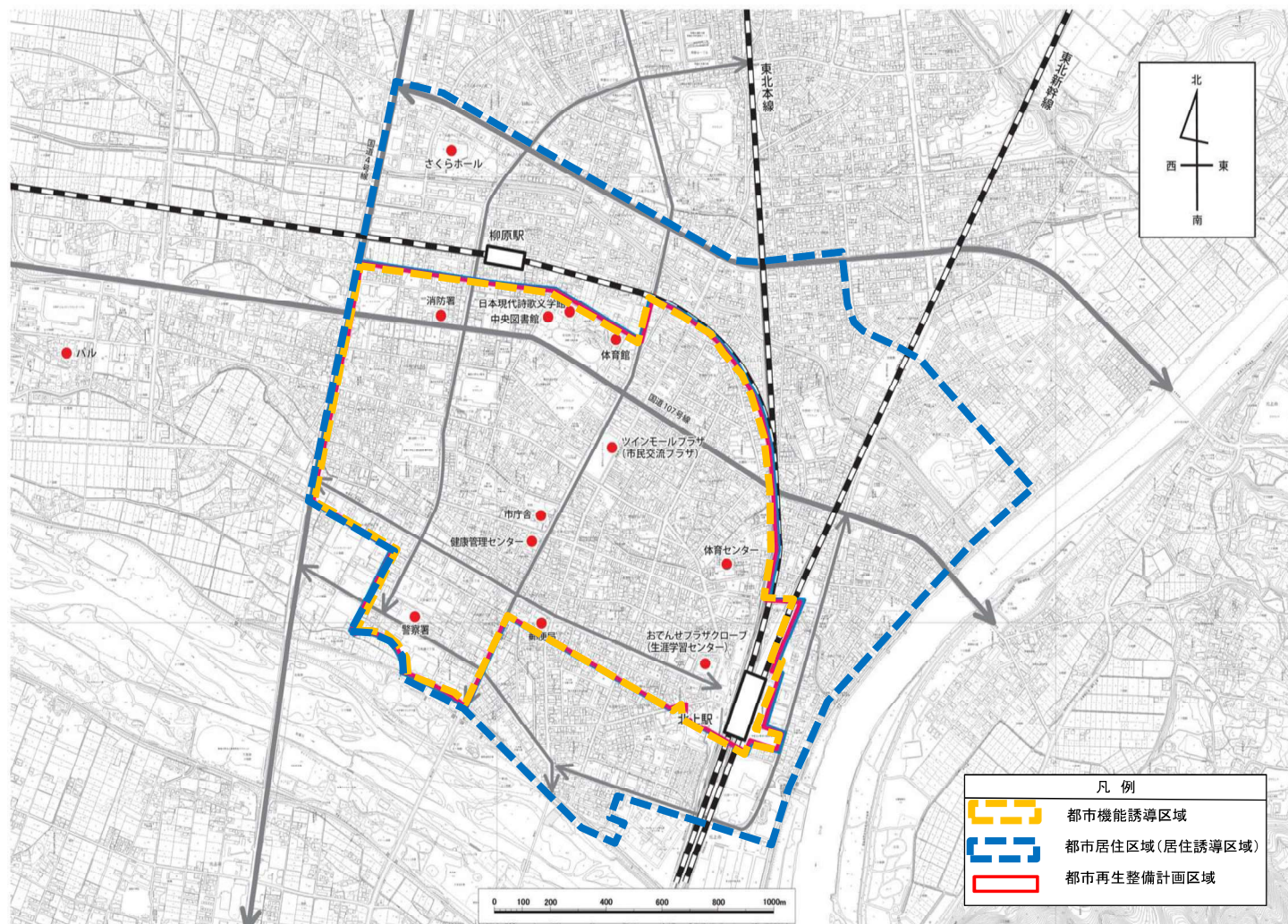
黒沢尻地区(岩手県北上市)

面積

195.5 ha

区域	项目	数量	单位	备注
第一区域	项目A	10	个	
	项目B	20	个	
	项目C	30	个	
	项目D	40	个	
第二区域	项目A	15	个	
	项目B	25	个	
	项目C	35	个	
	项目D	45	个	
第三区域	项目A	20	个	
	项目B	30	个	
	项目C	40	个	
	项目D	50	个	
第四区域	项目A	25	个	
	项目B	35	个	
	项目C	45	个	
	项目D	55	个	
第五区域	项目A	30	个	
	项目B	40	个	
	项目C	50	个	
	项目D	60	个	

岩手県北上市新穀町、諏訪町、青柳町、大曲町、大通り、芳町および花園町、九年橋、若宮町、川岸、本通り、鍛冶町、本石町、本通り、柳原町、有田町の一部



黒沢尻地区(岩手県北上市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目 標	大目標： 医療・福祉・子育てを支え、ふれあいや交流が生まれる「あじさい都市」きたかみの都市拠点の形成	代表的な指標	中心拠点区域の人口	(人)	8,067	(H29年度)	→	8,067	(R2年度)
	目標1 医療機能の適正配置による安心安全な暮らしの実現		北上市保健・子育て関連施設の利用者数	(人／日)	200	(H28年度)	→	420	(R2年度)
	目標2 子育て世代を支援する機能の充実								
	目標3 高齢者にやさしい公共交通ネットワークの構築		市内バス利用者利用者数	(人／年)	593,206	(H27年度)	→	640,000	(R2年度)

